

# 平成26年度埼玉県流域下水道事業会計決算の概要について

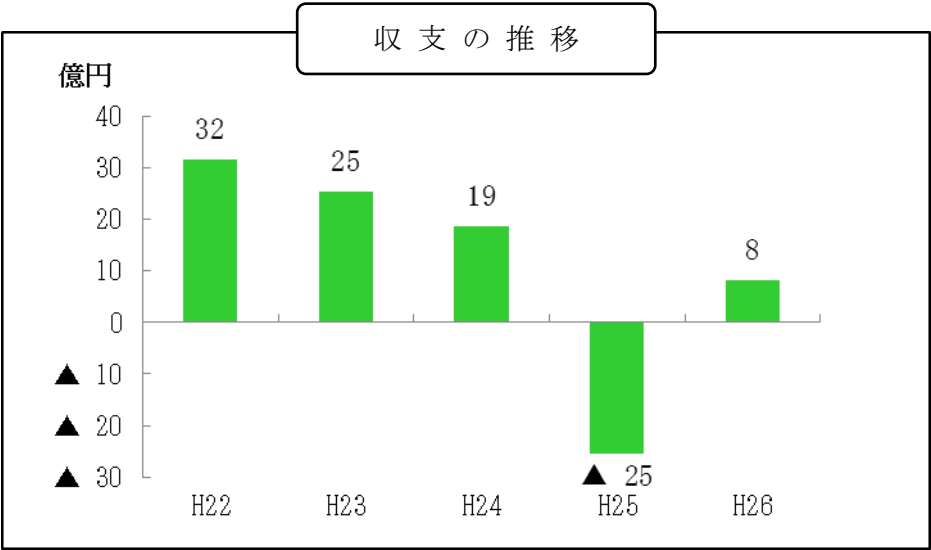
## 1 収支の状況

○ 当期収支 8億1,700万円の純利益を確保

	26年度	25年度	比較
事業収益	472億7,100万円	303億2,000万円	169億5,100万円の増
事業費用	464億5,400万円	328億5,400万円	136億円の増
収支差	8億1,700万円	▲25億3,400万円	33億5,100万円の増

- ・ 収益と費用の増加は、公営企業会計制度の見直しによる（185億2,000万円増）
- ・ 収支差の改善は、市町への維持管理負担金返還金費用の皆減による（32億4,400万円減）

※公営企業会計制度の見直し（平成26年度から適用）  
 従来、減価償却の対象としなかった固定資産の補助金充当部分について、  
 費用・収益ともに計上することとなった。



※単年度の純利益の額

## 2 業務量の状況

- 流域下水道の区域 8流域47市町（処理人口 約525万人）
- 年間処理水量 6億4,700万m<sup>3</sup>/年（対前年度比 1,300万m<sup>3</sup>/年[2.0%]の増）

（※増の要因：流域関連公共下水道普及率の増、ホンダ寄居工場の本格稼働、降雨量の増等）

流域名	関連市町	年間処理水量 (m <sup>3</sup> /年)	処理人口 (人)
荒川左岸南部	さいたま市、川口市、上尾市、蕨市、戸田市	2億1,800万	182万
荒川右岸	川越市、所沢市、狭山市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、三芳町、ふじみ野市、川島町、吉見町	2億 800万	158万
中川	さいたま市(一部)、川口市(一部)、春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町、松伏町	1億4,400万	130万
荒川左岸北部	熊谷市、行田市、鴻巣市、桶川市、北本市	5,100万	33万
古利根川	久喜市、加須市	1,500万	11万
荒川上流	深谷市、寄居町	200万	2万
市野川	滑川町、嵐山町、小川町	400万	4万
利根川右岸	本庄市、美里町、神川町、上里町	500万	5万
合計	47市町	6億4,700万	525万